

令和2年度第3回甲賀市介護保険運営協議会次第

日時:令和2年10月2日(金)

午後2時~3時30分

場所:甲賀市役所 3階 301会議室

1. 開会

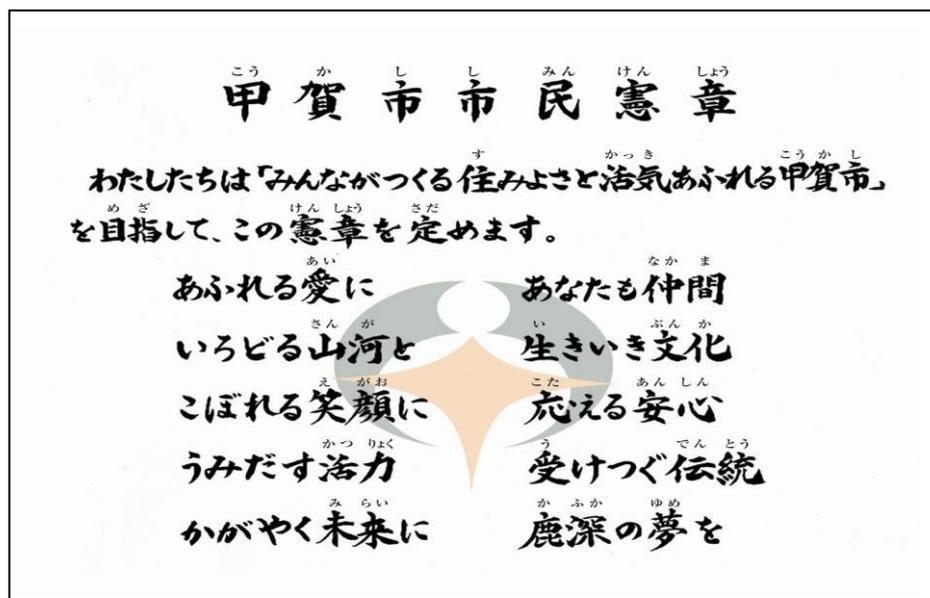
- ・市民憲章唱和

2. 議事

○第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画について

- ・日常生活圏域の概況とアンケート結果から見える傾向について
- ・介護保険料段階について
- ・事業計画骨子案（前半）について

3. その他



日常生活圏域ニーズ調査による介護予防事業対象者の圏域別結果

1

該当率	生活機能の低下					
	男女計 (%)		男 (%)		女 (%)	
1	甲賀	11.4	水口2	9.5	甲賀	13.6
2	水口2	10.8	信楽	9.0	水口2	11.7
3	甲南	8.8	甲賀	8.4	甲南	10.3
4	土山	8.6	土山	7.8	水口1	9.9
5	信楽	8.4	甲南	7.0	土山	9.2
6	水口1	8.2	水口1	6.3	信楽	7.9
平均		9.9		7.9		10.5

2

該当率	運動機能の低下					
	男女計 (%)		男 (%)		女 (%)	
1	信楽	32.1	信楽	26.5	信楽	36.2
2	水口2	30.0	水口2	22.1	水口2	36.0
3	甲賀	29.1	甲賀	21.3	甲賀	34.9
4	水口1	26.2	水口1	18.3	土山	33.5
5	土山	25.5	甲南	17.0	水口1	33.0
6	甲南	24.3	土山	15.6	甲南	30.4
平均		27.6		19.9		33.8

3

該当率	栄養状態の低下					
	男女計 (%)		男 (%)		女 (%)	
1	甲南	2.9	水口2	3.5	甲南	2.8
2	水口2	2.2	甲南	3.0	信楽	2.0
3	土山	2.2	土山	2.8	土山	1.7
4	信楽	1.8	水口1	2.0	甲賀	1.7
5	甲賀	1.7	甲賀	1.7	水口1	1.4
6	水口1	1.6	信楽	1.6	水口2	1.1
平均		2.1		2.5		1.8

4

該当率	口腔機能の低下					
	男女計 (%)		男 (%)		女 (%)	
1	水口2	30.7	信楽	29.6	水口2	32.6
2	信楽	28.4	水口2	28.1	土山	28.9
3	甲南	27.4	甲南	26.3	甲南	28.2
4	土山	26.8	水口1	25.8	信楽	27.6
5	甲賀	26.6	甲賀	25.8	甲賀	27.2
6	水口1	25.3	土山	24.1	水口1	24.8
平均		27.5		26.7		28.1

5

該当率	閉じこもり傾向					
	男女計 (%)		男 (%)		女 (%)	
1	信楽	32.3	信楽	31.2	土山	37.6
2	土山	30.3	土山	21.3	甲賀	33.2
3	水口2	26.6	水口2	20.1	信楽	33.1
4	甲賀	25.9	水口1	19.8	水口2	31.4
5	水口1	24.5	甲南	19.7	水口1	28.6
6	甲南	22.9	甲賀	16.3	甲南	25.7
平均		26.5		21.2		30.8

6

該当率	認知機能の低下					
	男女計 (%)		男 (%)		女 (%)	
1	土山	58.3	土山	61.7	信楽	56.3
2	信楽	58.2	信楽	60.8	水口1	55.8
3	水口1	57.7	水口1	59.9	土山	55.5
4	甲賀	56.9	甲賀	59.6	甲賀	54.9
5	水口2	55.7	水口2	57.3	水口2	54.5
6	甲南	54.6	甲南	55.3	甲南	53.9
平均		56.7		58.7		55.1

7

該当率	うつ傾向					
	男女計 (%)		男 (%)		女 (%)	
1	水口2	46.0	土山	46.8	水口2	47.3
2	土山	43.0	水口2	44.2	甲賀	42.1
3	甲賀	41.6	甲南	41.7	水口1	41.5
4	信楽	40.9	甲賀	41.0	信楽	41.3
5	水口1	39.2	信楽	40.2	土山	39.9
6	甲南	39.1	水口1	36.5	甲南	36.9
平均		41.3		41.3		41.3

8

該当率	転倒リスク					
	男女計 (%)		男 (%)		女 (%)	
1	信楽	43.1	信楽	43.4	信楽	42.9
2	水口2	39.1	甲賀	37.1	土山	42.8
3	甲賀	37.3	水口2	34.7	水口2	42.4
4	水口1	37.2	水口1	34.5	水口1	39.5
5	土山	36.6	甲南	29.7	甲賀	37.4
6	甲南	32.7	土山	29.1	甲南	35.2
平均		37.3		34.5		39.6

	該当上位	1	2	3
1	生活機能低下	甲賀	水口2	甲南
2	運動機能低下	信楽	水口2	甲賀
3	栄養状態低下	甲南	水口2	土山
4	口腔機能低下	水口2	信楽	甲南
5	閉じこもり傾向	信楽	土山	水口2
6	認知機能低下	土山	信楽	水口1
7	うつ傾向	水口2	土山	甲賀
8	転倒リスク	信楽	水口2	甲賀

【日常生活圏域別の状況】

	甲賀市	水口1 圏域	水口2 圏域	土山 圏域	甲賀 圏域	甲南 圏域	信楽 圏域
①人口(人)	90,753	24,144	17,024	7,391	9,953	20,886	11,355
②世帯数(世帯)	35,888	9,213	7,321	2,890	3,556	8,042	4,866
③1世帯あたりの人員数(人)	2.5	2.6	2.3	2.6	2.8	2.6	2.3
④65歳以上人口(人)	24,840	4,961	4,260	2,626	3,487	5,545	3,961
⑤75歳以上人口(人)	12,638	2,344	2,219	1,381	1,871	2,719	2,104
⑥高齢化率(%)	27.4	20.5	25.0	35.5	35.0	26.5	34.9
⑦後期高齢者率(%)	13.9	9.7	13.0	18.7	18.8	13.0	18.5
⑧要介護・ 要支援者 数	計(人)	4,596	801	843	517	648	960
	第1号(人) [※]	4,512	786	822	506	640	942
	第2号(人) [※]	84	15	21	11	8	18
⑨第1号認定率(%)	18.2	16.1	19.8	19.7	18.6	17.3	20.9

資料：①②③④⑤⑥⑦は住民基本台帳人口（令和元年(2019年)10月1日現在）

⑧は長寿福祉課調べ（令和元年(2019年)10月月報）

⑨は⑧の第1号認定者÷④65歳以上人口

注記：水口1圏域（貴生川・柏木・伴谷地区）

水口2圏域（水口・綾野・岩上地区）

第1号…第1号被保険者

第2号…第2号被保険者

日常生活圏域別の地域概況及びアンケート調査結果から見える傾向

甲賀市全域

概況

- ・人口は、平成25年(2013年)10月1日93,440人、令和元年(2019年)10月1日90,753人で2,687人減少しているが、65歳以上の人口は、21,700人から24,840人と3,140人増加している。
- ・高齢化率は、平成25年(2013年)10月1日23.2%、平成28年(2016年)10月1日25.8%、令和元年(2019年)10月1日27.4%で年々増加しており、平成25年(2013年)からの伸びは、4.2%である。
- ・第1号認定率は、18.2%で、平成25年(2013年)からの伸びは、1.5%である。

アンケート調査結果から見える傾向

- ・認知機能の低下が該当である場合、非該当の場合より運動機能の低下、うつ傾向、転倒リスクが該当になる率が高い。
- ・認知機能の低下の有無と地域での活動の参加状況を比較すると、活動に参加していない人の方が、認知機能の低下に該当している人が多い。各圏域においても同様の傾向である。
- ・うつ傾向が該当である場合、非該当の場合より運動機能の低下が該当になる率が高い。各圏域においても同様の傾向である。
- ・運動機能の低下の有無と地域での活動の参加状況を比較すると、回数に関わらず、参加している人の方が運動機能の低下が非該当である人が多い。
- ・地域での活動の参加状況と、趣味の有無・生きがいの有無を比較すると、活動への参加の回数に関わらず、参加している人の方が趣味がある・生きがいがあるとした人が多い。
- ・地域での活動の参加状況と、健康についての記事や番組への関心の有無を比較すると、活動への参加の回数に関わらず、参加している人の方が関心が高い。
- ・地域での活動の参加状況と、生活機能の低下の有無を比較すると、参加していない人の方が参加している人に比べ、生活機能の低下の該当が多い。
- ・平成29年度調査よりうつ傾向に該当する割合が、各年齢層で増加している。
- ・介護が必要ないと回答した人は、約7割である。
- ・認知機能の低下は女性より男性に多く見られる。
- ・運動機能の低下は男性より女性に多く見られる。
- ・認知機能の低下がある人が5割以上と多い。

水口全圏域

概況

- ・水口圏域全体において、総合相談は増加傾向であり、新規相談の内容は認知症を含む精神疾患や、アルコール関連を含む健康問題、権利擁護の相談が多い。(平成26年度は714件、令和元年度は785件)
- ・水口圏域全体において、令和元年度の介護認定の原因疾患は、認知症(23.0%)、脳血管疾患(12.9%)、骨、関節疾患(10.1%)となっている。
- ・水口圏域全体において、地域サロンは67か所、ミニサークルは17か所、いきいき100歳体操は32か所で実施。
- ・防災組織体制を整え、地域の見守りを検討されている地域が多い。

水口1圏域(貴生川・柏木・伴谷地区)

概況

- ・人口は、平成25年(2013年)10月1日24,008人、令和元年(2019年)10月1日24,144人で136人増加している。
- ・人口は、市内6圏域中一番多く、市内人口の26.6%を占めている。
- ・高齢化率は、平成25年(2013年)10月1日17.1%、平成28年(2016年)10月1日19.4%、令和元年(2019年)10月1日20.5%で年々増加しているものの、市内6圏域の中では最も低く、市平均を大きく下回っている。平成25年(2013年)からの伸びは、3.4%で市内6圏域中2番目に少ない。
- ・第1号認定率は、16.1%で、市内6圏域中最も低い。
- ・独居世帯は三大寺区(貴生川学区)、山区、下山区(伴谷学区)に多い。
- ・高齢者虐待通報件数は、令和元年度10件であった。

アンケート調査結果から見える傾向

- ・介護予防事業対象者等の該当となる8項目中、認知機能の低下が6圏域中3位となった以外は、上位に該当する項目はなかった。生活機能の低下、栄養状態の低下、口腔機能の低下の各項目では、6圏域中6位と一番該当が少なかった。
- ・普段の生活でどなたかの介護、介助が必要かとの問いにおいて、「介護・介助は必要ない」と回答している割合が一番高い。
- ・外出に関する間で、週2日以上外出している割合が6圏域中2番目に多い。
- ・椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるかや15分くらい続けて歩いているかの問いで、「できるししている」と回答した割合が、6圏域中最も高い。

水口2圏域（水口・綾野・岩上地区）

概況

- ・人口は、平成25年(2013年)10月1日16,685人、令和元年(2019年)10月1日17,024人で339人増加している。
- ・人口は、市内6圏域中3番目に多く、市内人口の18.8%を占めている。
- ・高齢化率は、平成25年(2013年)10月1日22.4%、平成28年(2016年)10月1日24.2%、令和元年(2019年)10月1日25.0%で年々増加しているものの、市内6圏域の中では2番目に低く、市平均は下回っている。平成25年(2013年)からの伸びは、2.6%で市内6圏域中1番少ない。
- ・第1号認定率は19.8%で、高齢化率が低いにも関わらず、市内6圏域中2番目に高くなっている。
- ・高齢者虐待通報件数は、令和元年度21件であった。

アンケート調査結果から見える傾向

- ・介護予防事業対象者等の該当となる8項目中7項目が上位3位までに該当している。口腔機能低下、うつ傾向は6圏域中最も高く、生活機能低下、運動機能低下、栄養状態の低下、転倒リスクは6圏域中2番目に高い。
- ・認知機能の低下に該当する割合は、6圏域中2番目に低い。
- ・階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかの間で「できるけどしていない」「できない」の割合が6圏域中一番高い。
- ・外出の回数について減っていると回答した割合が6圏域中一番多い。
- ・外出を控えていると回答した割合が6圏域中一番多い。
- ・健康についての記事や番組の関心について、あると回答した割合が6圏域中最も低い。
- ・友人の家を訪ねているかの問いについて、はいと回答した割合が6圏域中最も低い。
- ・持ち家一戸建ての割合が6圏域中6位で、賃貸集合住宅の割合が1番高い。
- ・地域での活動について、参加している割合が、6圏域中最も低い。
- ・認知症に関する相談窓口を知っているかの問いで、はいと回答した割合が、6圏域中最も低い。
- ・年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けるか、新聞を読んでいるかの問いで、はいと回答した割合は、6圏域中最も高い。

土山圏域

概況

- ・人口は、平成25年(2013年)10月1日8,333人令和元年(2019年)10月1日7,391人で942人減少している。
- ・人口は、市内6圏域中最も少なく、市内人口の8.1%を占めている。出生数も年々減少しており令和元年は29人。
- ・高齢化率は、平成25年(2013年)10月1日28.6%、平成28年(2016年)10月1日32.9%、令和元年(2019年)10月1日35.5%で年々増加し、市内6圏域中で最も高く、市平均を大きく上回っている。平成25年(2013年)からの伸びは、6.9%で高齢化が進展している。
- ・第1号認定率は、19.7%で、市内6圏域中3番目に高くなっている。
- ・介護保険認定原因疾患は、認知症(31.4%)、脳血管疾患(12.9%)、骨・関節疾患(9.8%)となっている。
- ・介護保険サービスは、事業所の休廃業や送迎エリアの制限により、他の圏域に比べ利用調整を要する場合がある。
- ・主な公共交通機関はバスで、車での移動が多数。高齢期になり、移動手段を失うことにより、生活への影響が大きい。
- ・いきいき100歳体操は、16か所で実施。
- ・総合相談は令和元年度208件、高齢者虐待通等件数は10件であった。

アンケート調査結果から見える傾向

- ・認知機能の低下で6圏域中1位である。
- ・閉じこもり傾向、うつ傾向でも6圏域中2位となっている。
- ・男性は認知機能低下、うつ傾向共に1位である。
- ・趣味の有無について、あると回答した割合が6圏域中1番少ない。特に男性の割合が少ない。
- ・生きがいの有無について、あると回答した割合が6圏域中2番少ない。特に男性の割合が少なく、男性の平均よりも10%以上低い。
- ・地域での健康づくりや趣味等のグループにお世話役として参加したいかの問いで、「ぜひ参加したい」、「参加してもよい」、「すでに参加している」を併せた割合が6圏域中最も低い。

甲賀圏域

概況

- ・人口は、平成25年(2013年)10月1日10,844人、令和元年(2019年)10月1日9,953人で891人減少している。
- ・人口は、市内6圏域中2番目に少なく、市内人口の11.0%を占めている。
- ・高齢化率は、平成25年(2013年)10月1日29.4%、平成28年(2016年)10月1日32.3%、令和元年(2019年)10月1日35.0%で年々増加し、市内6圏域中土山圏域に次いで2番目に高くなっている。平成25年(2013年)からの伸びは、5.6%である。
- ・第1号認定率は、18.6%で、市内6圏域中4番目となっている。
- ・総合相談は、平成30年度458件、令和元年度413件で400件台で推移している。相談内容は、介護保険制度関係(R1：50件)、入院から退院後の相談(R1：46件)、生活に関する相談(R1：21件)となっている。
- ・高齢者虐待通報件数は、令和元年度9件であった。
- ・いきいき100歳体操は22か所で実施。

アンケート調査結果から見える傾向

- ・生活機能の低下で6圏域中1位である。特に女性の該当率が高い。
- ・15分くらい続けて歩いているかの問いで、「できるけどしていない」と「できない」を合わせた割合が、6圏域中最も高い。特に女性の割合が高い。
- ・地域での活動についての問いで、男女ともに参加している割合が6圏域中最も高い。
- ・地域での健康づくりや趣味等のグループに参加者として参加したいかの問いで、「ぜひ参加したい」、「参加してもよい」、「すでに参加している」を併せた割合が6圏域中最も低い。

甲南圏域

概況

- ・人口は、平成25年(2013年)10月1日20,981人、令和元年(2019年)10月1日20,886人で95人減少に留まっている。
- ・人口は、市内6圏域中2番目に多く、市内人口の23.0%を占めている。
- ・高齢化率は、平成25年(2013年)10月1日21.8%、平成28年(2016年)10月1日24.7%、令和元年(2019年)10月1日26.5%で年々増加しているが、市内6圏域中では3番目に低く、平成25年(2013年)からの伸びは、4.7%である。
- ・第1号認定率は、17.3%で、市内6圏域中2番目に低くなっている。
- ・独居世帯は、深川区の一部、第3学区に多い。また、高齢世帯は、耕心区、野田区、希望ヶ丘区に多い。
- ・介護認定の原因疾患は、認知症(21.0%)が多い。
- ・総合相談は、令和元年度465件で、介護保険制度(R1:132件)、入院から退院後の相談(R1:116件)、認知症(R1:71件)、生活相談(R1:62件)となっている。
- ・いきいき100歳体操は20か所で実施。
- ・高齢者虐待通報件数は、令和元年度10件であった。

アンケート調査結果から見える傾向

- ・認知機能の低下は6圏域中最も低い。
- ・栄養状態の低下は、6圏域中最も高い。
- ・過去1年に転んだことがあるかとの問いで、転んだことがないの割合が6圏域中最も高い。
- ・住まいに関する問で「持ち家一戸建て」と回答した割合が一番高い
- ・暮らしの経済状況では、普通からゆとりがあると回答した割合が7割を超えて6圏域中最も高い。
- ・階段を手すりや壁をつたわずに昇っているの問で「できるししている」の割合が6圏域中一番高い。特に男性の割合が高い。
- ・外出に関する問で、週2日以上外出している割合が6圏域中最も高い。
- ・本や雑誌を読んでいるかの問いで、はいと回答した割合が、6圏域中最も高い。
- ・趣味の有無について、あると回答した割合が、6圏域中最も高い。
- ・地域での健康づくりや趣味等のグループに「参加者として参加したいか」の問いで、「ぜひ参加したい」、「参加してもよい」、「すでに参加している」を併せた割合が6圏域中最も高い。同様に、「お世話役として参加したいか」の問いでも「参加」の割合が最も高い。

信楽圏域

概況

- ・人口は、平成25年(2013年)10月1日12,589人、令和元年(2019年)10月1日11,355人で1,234人減少している。
- ・人口は、市内6圏域中3番目に少なく、市内人口の12.5%を占めている。出生数も減少しており、令和元年は38人。
- ・高齢化率は、平成25年(2013年)10月1日29.5%、平成28年(2016年)10月1日33.0%、令和元年(2019年)10月1日34.9%で年々増加しており、市内6圏域中では3番目に高い。平成25年(2013年)からの伸びは、5.4%である。
- ・第1号認定率は、20.9%で、市内6圏域中最も高くなってる。
- ・独居世帯は、多羅尾地域が多い。
- ・介護認定原因疾患は、認知症(26.3%)、骨・関節疾患(15.5%)が多くなっている。
- ・総合相談は、令和元年度317件で、介護保険制度利用についてが最も多い。
- ・いきいき100歳体操(27か所)、脳トレ教室(5か所+有志グループ1か所)で実施。
- ・信楽地域見守りネットワーク活動として、訪問型が6地区、訪問型と居場所づくりが2地区、しくみ作り中が1か所ある。
- ・高齢者虐待通報件数は、令和元年度19件あった。

アンケート調査結果から見える傾向

- ・閉じこもり傾向、転倒リスクの該当が6圏域中最も高い。また、認知機能の低下の該当が6圏域中2番目に高い。
- ・一人暮らしの割合が6圏域中2番目に高い。
- ・介護・介助は必要ないと回答した割合は、6圏域中最も低い。また、介護・介助が必要だが現在は受けていないと回答した方が約15%と多い。
- ・過去1年に転んだことがあるかとの問いで、「何度もある」「一度ある」のいずれでも6圏域中一番割合が高い。
- ・転倒に対する不安は「とても不安」「やや不安」を合わせて65%を超えており、6圏域中一番高い。
- ・暮らしの経済状況では、「大変苦しい」「やや苦しい」と回答した割合が3割を超えて6圏域中一番多い。
- ・週に1回以上外出しているかの問いで、週に1回の割合は6圏域中最も高いが、2回以上の割合は6圏域中最も低い。
- ・年金などの書類(役所や病院に出す書類など)が書けるかの問いで、はいと回答した割合が6圏域中最も低い。
- ・本や雑誌を読んでいるかの問いで、はいと回答した割合が、6圏域中最も低い。

第1号保険料の額（段階別）（年額）
参考（合併前）

（単位：円）

区分	第1期（H12～14）										第2期（H15, 16）									
	水口		土山		甲賀		甲南		信楽		水口		土山		甲賀		甲南		信楽	
第1段階	15,336	0.50	15,870	0.50	15,000	0.50	15,828	0.50	15,528	0.50	15,336	0.50	9,390	0.30	12,720	0.40	15,840	0.48	12,000	0.40
第2段階	23,004	0.75	23,800	0.75	22,500	0.75	23,742	0.75	23,292	0.75	23,004	0.75	21,920	0.70	22,260	0.70	23,760	0.72	21,300	0.71
第3段階	30,672	1.00	31,740	1.00	30,000	1.00	31,656	1.00	31,056	1.00	30,672	1.00	31,320	1.00	31,800	1.00	33,000	1.00	30,000	1.00
第4段階	38,340	1.25	39,670	1.25	37,500	1.25	39,570	1.25	38,820	1.25	38,340	1.25	39,150	1.25	39,750	1.25	41,244	1.25	37,500	1.25
第5段階	46,008	1.50	47,610	1.50	45,000	1.50	47,848	1.50	46,584	1.50	46,008	1.50	46,980	1.50	47,700	1.50	49,500	1.50	45,000	1.50
第6段階													59,500	1.90	60,420	1.90	59,400	1.80	57,000	1.90

合併以降保険料段階表

区分	H17		区分	H18		H19・20		区分	H21		H22		H23		H24～26		H27～29		H30～R2	
第1段階	9,680	0.29	第1段階	11,880	0.30	11,880	0.30	第1段階	21,036	0.50	21,312	0.50	21,600	0.50	21,672	0.43	29,196	0.43	34,212	0.43
第2段階	22,620	0.70	第2段階	19,800	0.50	19,800	0.50	第2段階	21,036	0.50	21,312	0.50	21,600	0.50	21,672	0.43	38,328	0.63	44,904	0.63
第3段階	32,310	1.00	第3段階	27,720	0.70	27,720	0.70	第3段階	31,548	0.75	31,968	0.75	32,400	0.75	31,752	0.63	45,624	0.75	53,460	0.75
第4段階	40,390	1.25	第4段階	39,600	1.00	39,600	1.00	第4段階	42,072	1.00	42,624	1.00	43,200	1.00	37,800	0.75	52,920	0.87	62,004	0.87
第5段階	48,460	1.50	激変緩和 （1段階から）	26,136	0.66	32,868	0.83	第5段階	47,532	1.13	48,156	1.13	48,816	1.13	43,848	0.87	60,840	1.00	71,280	1.00
第6段階	64,630	2.00	激変緩和 （2段階から）	26,136	0.66	32,868	0.83	第6段階	52,584	1.25	53,280	1.25	54,000	1.25	50,400	1.00	68,748	1.13	80,544	1.13
			激変緩和 （3段階から）	32,868	0.83	36,036	0.91	第7段階	63,108	1.50	63,936	1.50	64,800	1.50	56,952	1.13	76,044	1.25	89,100	1.25
			第5段階	49,500	1.25	49,500	1.25	第8段階	71,520	1.70	72,456	1.70	73,440	1.70	63,000	1.25	91,260	1.50	106,920	1.50
			激変緩和 （1段階から）	29,700	0.75	39,600	1.00	第9段階	84,144	2.00	85,248	2.00	86,400	2.00	75,600	1.50	106,464	1.70	124,740	1.75
			激変緩和 （2段階から）	29,700	0.75	39,600	1.00	第10段階					85,680	1.70	121,680	2.00	142,560	2.00		
			激変緩和 （3段階から）	36,036	0.91	42,768	1.08	第11段階					100,800	2.00	136,884	2.25	160,380	2.25		
			激変緩和 （4段階から）	42,768	1.08	45,936	1.16	第12段階							152,100	2.50	178,200	2.50		
			第6段階	59,400	1.50	59,400	1.50													
			第7段階	79,200	2.00	79,200	2.00													

↑
基準額＝月額基準額×12月で、10円未満切り捨て
その他の段階は、基準額の月額に料率を掛けた額に12月をかけた額で、10円未満切り捨て

↑
基準額の月額に料率を掛け、小数点以下切り捨て後に12月をかけた額